



# あいびす

1月1日  
2021(令和3年)  
JANUARY

52号



## Contents

02 年頭のあいさつ

会長 塙 宏之

03 茨城県産業戦略部長 前田 了

04・05 各委員会より

06 先進技術セミナー

07 総務関連セミナー

08 フォローアップセミナー

09 新入会員の紹介

10 異動情報



# ITとデジタルで社会変化に対応

(一社)茨城県情報サービス産業協会 会長 **埜 宏之**



新年あけましておめでとうございます。

日頃から協会の運営につきまして格別のご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本年も協会発展のため、より一層尽力して参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが、会員各社の皆様方も健康・安全の確保はもとより、社会活動全般における新しい生活様式を実践されていることと存じます。

そのような中、我が国の景気は内閣府の月例経済報告によりますと、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染症が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要があるとしています。

我々の業界もこれから何らかの影響を受けることは避けられない状況かと思えます。

新型コロナウイルスの影響で今までは当たり前だった経済活動や、私たちの価値観が大きく変化しました。企業においては今回の危機をきっかけに、テレワークや在宅勤務など従来の働き方が根本的に見直されることになりました。そのような状況下、コロナ禍で生じた非接触・非対面などの新たな社会課題に対するサービスやビジネスモデルが求められています。

これらの新型コロナウイルス感染拡大で生じた新たな社会課題の解決に、ITやデジタル技術に対し様々な期待が寄せられており、我々の業界の役割も益々大きなものになっていくと思われま

す。2019～2020年度の事業は、「新入社員合同研修会」を始め、「定時総会」、「得意技・先進技術交流会」など、新型コロナウイルスの影響により縮小・中止せざるを得ませんでした。その中でも「総務関連セミナー」、「フォローアップセミナー」、「先進技術セミナー」、「いばらきデジタルコンテンツ・ソフトウェア大賞」を無事開催できたことは、多くのスタッフの皆様の協力のおかげであり、改めて感謝する次第です。今回開催したセミナー・事業につきましては、会場のご協力もあり、徹底した感染防止と三密を避け、そしてオンラインでの開催も含め安全に十分配慮した形での開催となりました。今年予定しております各種事業につきましても新しい形を取り入れるとともに、産・官・学の連携を図りながら、出来る限り会員各社の皆様に貢献して参りたいと思います。

また当協会のスローガン「組織力を強化し早期の会員数100社を目指す」を実現するため、会員各社間の結束を強め、この難局を打破していきたいと思っておりますので、皆様には変わらぬご協力・ご支援をお願い申し上げます。そして、一日も早く皆様と明るい話題を共有できますようお願いしております。

結びになりますが、会員各社のご繁栄と皆様のご健康とご安全を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



# デジタル社会の実現へ向けて

茨城県産業戦略部長 **前田 了**



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県情報サービス産業協会の皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素から情報サービス産業界の技術力強化・人材育成等に積極的に取り組まれ、本県産業の情報化の推進及び競争力強化に向けご尽力されておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大と戦後最大の経済の落ち込みという国難のなか、会員の皆様におかれましても、非常に厳しい1年であったことと存じます。県では、こうした企業の厳しい経営環境を支援するため、融資枠5,600億円の無利子・無担保の融資制度と、1者当たり最大200万円の貸付制度を創設したほか、県内6カ所の就職支援センターに、生活・就職・労働相談にワンストップで対応可能な総合支援体制を構築するなどきめ細かい支援に努めてまいりました。

そのような中、国では、「新しい生活様式」として、テレワークやオンライン会議などが推進されてきており、県内企業の多くが働き方改革に取り組まれていることかと存じます。県におきましても、社会経済活動を過度に収縮させることのないよう、独自の対策指針「茨城版コロナNext」を策定し、「いばらきアマビエちゃん」を導入するなど、感染防止対策と社会経済活動を両立させる、新たな道を模索するための様々な対策を講じてまいりました。

一方で、コロナ禍において、行政サービスや民間におけるデジタル化の遅れが浮き彫りになったこともあり、デジタル技術を活用したビジネス変革である「デジタルトランスフォーメーション」(DX)の取組が、今後一層進められていくものと確信しています。

県では、こうした取組を支援するため、茨城県産業技術イノベーションセンター内のコワーキングスペースを活用し、IoT・AI等の次世代技術に係る知識やビジネス創出ノウハウ等の習得のほか、ビジネスプランの構築から事業化までの一貫した支援に加え、IT・AI・ロボット、宇宙、機能性材料の3分野について、大学や研究機関等と連携し、先導的な研究開発を推進しています。さらに、令和2年度から、サービス産業のDX推進のため、デジタル技術を活用した生産性向上や付加価値向上のための実証経費補助等の支援を行っております。

県といたしましては、県民の皆さまをはじめ、貴協会などの関係機関と力を合わせ、「活力があり、県民が日本一幸せな県」に向けた取組を進めてまいりますので、貴協会におかれましても、県内の情報サービス産業の牽引役として、より一層ご活躍いただきますとともに、県勢の発展のため、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



## 各委員会より

## ● 事業推進委員会

委員長 松本 英俊



新年明けましておめでとうございます。  
 日頃より会員の皆様には、事業推進委員会の活動にご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスという未知のウイルスが世界各地において猛威を振るう予期せぬ事態に、全世界が翻弄された年でありました。日本に照準を合わせてみますと、待ち望んでいた東京オリンピックの開催延期という、心残りのある年となりました。

まだまだ先の見えないこのウイルスとの闘いですが、ワクチンの開発や治療法の確立など、医療の進歩に期待し、さらには延期された東京オリンピックが無事開催され、停滞・低迷している日本経済の各分野に光明が差すことを期待したいと思います。

昨年の事業推進委員会活動をご報告いたします。

## 【いばらきデジタルコンテンツ・ソフトウェア大賞2020】

昨年同様、アプリ・ソフトウェア・IoT部門とデジタルアート部門、さらに今回新設された「小学生部門」の3部門で募集を行いました。IBISはアプリ・ソフトウェア・IoT部門の予備審査を担当し、合計130作品の

応募の中から21作品を部門審査委員選考対象作品としました。

尚、本審査及び表彰式は令和3年1月24日(日)に行われます。

## 【得意技・先進技術交流会の中止・学生向け冊子の制作】

11月に開催を予定していた、第3回得意技・先進技術交流会ですが、昨今の新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、今年度は開催を見送ることと致しました。

その代わりとしまして、昨年の交流会の会場でご支援いただいた共催の水戸市様と、様々なご協力をいただいた富士通様よりご提案をいただき、就職活動をしている学生向けの会社紹介動画が閲覧できるような冊子を作成し、市が毎年2月に各学校へ配布している「水戸市企業ガイドブック」と合わせて水戸市様に配布して頂けることになりました。

近年、企業の採用ツールの一つとして、企業紹介動画が注目を集めており、学生達にも分かり易く人気となっています。

今回は16社の会員企業様にご参加頂きましたが、今後も継続となった場合にはより多くの企業様にご参加頂けるよう、魅力ある冊子づくりへ努力して参りますので、引き続きご協力を申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## ● 技術研究委員会

委員長 清水 哲雄



新年あけましておめでとうございます。日頃より会員の皆様には技術研究委員会の活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、DX、5G、Cloud、AI、IoT、AR/VR、RPA、リモートなど、様々な技術やトレンドがIT業界をにぎわせ、今後も続くことが予想されます。そして、私たちの生活で「もっと便利に、早く、安く、楽しく、安全に」するためにICTの利用技術は必要不可欠のものとなっています。

技術研究委員会の活動に於いても、これらの先進技術やトレンド、課題を意識し、各種研修事業等の実施に取り組んでまいります。

まずは新年を迎えるにあたり、昨年の技術研究委員会の活動を以下の通りご報告申し上げます。

## 1. 先進技術セミナー

11月19日(木)、初のオンライン開催で延べ50名の参加になりました。

第一部では、富士通株式会社 松本国一様をお招きし、「デジタル先進国に学ぶ アフターコロナのデジタルトランスフォーメーション」をテーマにご講演頂きました。

第二部では、東日本電信電話株式会社 橋本登様をお招きし、「5G時代に向けたドコモの取組み-さまざまなパートナーさまと創る未来-」をテーマにご講演頂きました。

コロナ禍の中、興味深いテーマを提供出来ました。

## 2. 国内視察研修会

新型コロナの影響により団体での企業視察を自粛し、余儀なく中止といたしました。

## 3. 海外視察研修会

新型コロナの影響により海外渡航自粛などで、余儀なく中止といたしました。

以上の通りご報告を申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

## ● 総務広報委員会

委員長 小野瀬直人



新年明けましておめでとうございます。

日頃より皆様には、総務広報委員会活動にご協力賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、止む無く活動の中止や縮小といった運びになりました。

実施された活動にあたりまして、非対面を考慮し、オンラインセミナーが主流となりつつあります。

「アフターコロナ」、「Withコロナ」という言葉を耳にする機会が増え、当委員会もオンライン上でも双方向のコミュニケーションを実践できるセミナーを積極的に展開して参ります。

新年を迎えるにあたり、昨年の総務広報委員会の活動状況と今後の予定を下記の通りご報告いたします。

### 1. 会報発行

会報51号発行（令和2年8月）、新年号52号発行（令和3年1月）

### 2. 福利厚生事業 ボウリング大会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、止む無く中止とさせて頂きました。

### 3. フォローアップセミナー

2020年度は、多くの参加希望者を対応できるよう、また密にならないよう10月28日から30日の3日間開催としました。参加者は60名を超え、大盛況のうちに終わりました。

### 4. 総務広報委員会セミナー

9月25日に会場開催と併行して、オンライン配信も同時に行いました。演題は「企業の発展に繋げる社員の育成」（株式会社 打つ手は無限 代表取締役社長 鈴木 稔氏）オンラインも含め参加者は40名を超え、大盛況のうちに終わりました。

### 5. IBIS 合同企業説明会

昨年と引き続き、学校単位での開催方法とし、4つの学校と連携しております。開催時期は新型コロナウイルスの関係で未定となっております。

### 6. IBIS 新人合同研修

2021年3月23日から26日の4日間を実施計画としております。今回は新型コロナウイルスを考慮し、日帰りの研修とさせていただきます。

以上の通りご報告申し上げますと共に、引き続きご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## ● 会員増強委員会

委員長 小林 英雄



新年明けましておめでとうございます。

日頃より会員の皆様には、会員増強委員会の活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス関連の影響を様々な場面で感じられた一年だったのではないのでしょうか。これまでの長い道のりの中、医療従事者の皆様へは感謝の気持ちを忘れてはいけないと感じる日々でございます。さて、日本経済は、国の政策面での後押しもあり持ち直しの動きが見られる時期もありましたが、年末に再度押し寄せた感染拡大の状況から、先行きの不透明感が強いと感じております。今年も、延期されていた東京オリンピック・パラリンピックの開催も予定されています。大きな大会の開催が希望の光となりますよう、新しい参加様式を取り入れ盛大に応援したいと思います。

情報サービス産業分野においては、トレンドでありますAIやビックデータ、AR・VRの普及、X-Techの

展開やECの需要増加、5Gの実装の他、アフターコロナに伴うIT化の促進としてデジタルを活用したコミュニケーションの加速が予想されます。コロナ禍で大変な世の中ではありますが、様々な業界でITの需要が高まっています。会員の皆様と、たくさんのビジネスチャンスをグリップできるよう増強活動に取り組んで参りたいと思っております。

当委員会ではコロナ禍ではありますが、企業訪問等の活動を行い、現在正会員81社、賛助会員4社合計85社となっております。また、会員増強と会員相互の親睦を図ることを目的として、年2回のゴルフ大会を開催しておりましたが、当年度は残念ながら開催できておりません。

開催が可能になり次第、企画をいたしますので、会員の皆様にはもちろんのこと、入会を希望される企業様をお誘いの上多数のご参加をお願い申し上げます。

今後も会員皆様の役に立つ事業展開を行い、魅力ある協会活動に取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

● 会計委員会

委員長 古橋賢一郎



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には日頃からご協力を賜りまして誠に有難うございます。

昨年は、新型コロナウイルスの世界的な流行により日本全国はよろか、県内でも人の往来・イベントの自粛を余儀なくされ停滞感漂う厳しい年となったのではないのでしょうか。今年度もWITHコロナ時代における「新しい生活様式」「働き方改革」を推進しながらの経済活動が必至となりそうです。コロナ禍の時こそ会員各社の情報交換をより一層活発化させ、会員各社が好景気に沸くことを期待したいものです。

会計委員会として昨年12月までの活動状況は次の通りです。

(1) 協会収支の検査及び指導

事務局と共に2回(7月、10月)の財務状況の調査研究(来期収支予算含む)を実施

(2) 委員会別事業予算

委員会別の事業予算書のまとめ(2月)

(3) 四半期予算実績対比

四半期毎に委員会別に事業費の予算実績対比を実施(7月、10月)

今後は決算までに2回(1月、3月)の財務調査研究と決算の準備、並びに来年度の委員会別事業予算書を取り纏め、各委員長及び事務局と連携を深めながらIBISの更なる発展に寄与していきたいと思っております。

以上、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和2年度

先進技術セミナー

技術研究委員会

開催日	令和2年11月19日(木)	接続数	31接続
会場	オンライン開催	参加者	50人

本年度の先進技術セミナーは二部構成とし、第一部では、富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 松本 国一 様をお招きし、「デジタル先進国に学ぶ アフターコロナのデジタルトランスフォーメーション」をテーマに、中国のシリコンバレーと呼ばれデジタル先進都市の深センの動向を中心にご講演頂きました。多くの日本人がイメージする中国とは異なるまさにデジタル先進国と言える深センの「デジタルの世界をデジタルファースト」で考える深センのデジタル化は、アフターコロナのデジタル化のモデルとして参加者の皆様も熱心に拝聴されておりました。

第二部では、東日本電信電話株式会社 主査 橋本 登 様をお招きし、「5G時代に向けたドコモの取り組み-さまざまなパートナーさまと創る未来-」をテーマとして5Gを活用したシステムの事例をご講演頂きました。AI、4K画像、AR、遠隔診療等最先端の事例をご紹介頂き5G時代のビジネスのアイデアとして参考となるご講演でした。

**5G時代の社会実装に向けた取り組み**  
-さまざまなパートナーさまと創る未来-

2020年11月19日  
株式会社NTTドコモ 5G・IoTビジネス部  
橋本 登

本年度は、会員向けセミナーとなりましたが、コロナ禍を考慮し初のオンライン開催となり、接続数31接続 参加者延べ 50人を超える参加者となりました。

次年度以降も時期に即したテーマを選択し継続開催する予定です。ご期待ください。

2020年度 総務関連セミナー

総務広報委員会



# 「企業の発展に繋げる社員の育成」 PART 3



**講師** 株式会社 打つ手は無限 代表取締役社長 鈴木 稔氏

**開催日** 2020年9月25日(金)

**会場** ホテルレイクビュー水戸 2F 常磐の間

**参加者** 会場：27名 ● オンライン：14名 ● 計：41名

今年度の総務関連セミナーは昨年のアンケートで要望が多かったものとして、会員企業が重要課題の一つとして捉えております「人材育成」をテーマとして、経営環境が目まぐるしく変わる中で、会社の発展に向けて人材を如何に育てていくかについて具体的な社員教育のあり方や考え方を学んでもらうことを目的としてセミナーを開催しました。

今回で3回目となる講師を務めてくださった鈴木稔氏はNPO法人日本アドラー心理学カウンセリング協会の理事長を務めており、アドラー心理学をベースとした考え方のもと、グループ形式での参加型研修というスタイルで実施していただきました。昨今の新型コロナウイルスの影響で、セミナー等への参加を差し控える会員様も多いことから、今回は会場開催と併行してZoomでのオンライン配信も同時に行う形で実施しました。多くの受講者の方々が鈴木講師の熱のこもった講話に真剣に耳を傾け、グループ内でのディスカッションにおいてはソーシャルディスタンスを保ちながら積極的に意見交換を行い、笑顔と感動に満ちた

有意義な内容となり、盛況のうちにセミナーは終了しました。

会員の皆様におかれましては今回のセミナー内容を参考に社内での人材育成に役立てていただければと思います。



**県立 IT 短大** Ibaraki Prefectural Junior College of Industrial Technology

本校は、高度かつ実践的な

**「職業人としてのIT技術者」**  
を育成する県立の短期大学校です。

**【事業主推薦による人材育成を行います！】**

IT技術者を雇用する事業主による多様な形の入学者推薦に対応します。  
お問い合わせやご相談をお待ちしております。

**特色 1**

**国家試験の高い合格実績**

基本情報技術者試験に多くの学生が合格しています。(資格取得者数 全国短大トップクラス)

**特色 2**

**社会人基礎力の育成**

コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力をはじめ社会人基礎力の向上を重視しています。

**特色 3**

**企業との連携**

茨城職業能力開発推進協議会と連携し、産業界と一体となった人材の育成に取り組んでいます。

問合せ先

**茨城県立産業技術短期大学校**

〒311-1131 水戸市下大野町 6342  
メール: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

☎ 029-269-5500

http://www.ibaraki-it.ac.jp



令和2年度

総務広報委員会



第9回

## フォローアップセミナー開催

会場 J Aグループ茨城教育センター

開催日 令和2年  
10月28日(水)・29日(木)・30日(金)講師 カスヤ・マネジメント研究室  
春谷 昇 講師

参加者 11社 68名



今年度は新型コロナウイルスの影響も懸念されましたが、昨年同様に活気あふれる春谷講師を迎え、研修会場となりましたJ Aグループ茨城教育センター様のご協力を承り、関係者全員の検温とアルコール消毒の実施・室内換気やソーシャルディスタンス等で三密（密閉、密集、密接）を避ける研修スタイルを設けて万全の感染対策を施した中で第9回フォローアップセミナーが開催されました。本セミナーは若手社員としての日常活動を振り返り、今後のあり方を考えることを目的に開催しています。今年度は受講生一人一人が目的意識をしっかりと持って講義に耳を傾けている姿がとても印象的でした。新

入社員にとっては入社後半年が経過し、職場生活に慣れてくる一方で仕事の本質も忘れがちになる時期とも重なります。今回のセミナーは初心を思い返し、社会人としての態度や行動を再認識して緊張感を取り戻す良いタイミングだったのではないのでしょうか。

研修はグループディスカッション・スピーチ・発声練習・コミュニケーションの重要性を学ぶ伝達ゲーム等を行いました。それぞれの課題に対して基本行動の大切さを再確認し、気付きを得る良い機会になったかと思えます。特に伝達ゲームでは目的を達成するにあたり、コミュニケーションを円滑にして現状把握や情報共有する事の重要性を感じとれたのではないかと思います。

セミナーの最後には、コロナ禍での不安もたくさんありますが、学んだ事を今後活かして「今何が出来るか」「どう考えて行動するか」目標を持って前向きに行動に移していく事を実践してほしいという御講評の言葉をいただき、元気に挨拶で閉会となりました。今回のセミナーを通して受講生が一回りも二回りも大きく成長する事を期待しています！



# 新入会員の紹介

## 株式会社アイエスアイ

代表者	代表取締役 石井 秀明
設立	2003年7月24日
資本金	1,000万円
社員数	43名
事業内容	ソフトウェア開発・ハードウェア設計 制御装置開発
所在地	〒319-1116 那珂郡東海村舟石川駅西1-2-1 ポケットプラザビル1F・2F TEL 029-306-1175 FAX 029-306-1176

この度は、茨城県情報サービス産業協会に入会させて頂き誠にありがとうございます。

弊社は、シーケンサーを用いた制御のソフトウェア開発並びにハードウェア設計、装置製作を行っております。ハード設計ではシーケンス図や配線図、配置図等の図面作成も行っております。

入会の機会を頂きましたので、皆様とご協力させて頂きながら茨城県情報サービス産業協会の発展に微力ながらも貢献してまいりたいと思います。会員皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 株式会社 OZ

代表者	代表取締役 新城 寛喜
設立	2019年8月23日
社員数	3名
事業内容	・Webソフトウェアの開発・運用 ・ネットワーク・サーバー構築 ・パソコンレンタル事業 ・ITツールコンサルティング事業
所在地	<b>【本社】</b> 〒305-0005 つくば市天久保3-17-7 グリーンヒルズ101号 TEL 050-5358-0532 <b>【土浦オフィス】</b> 〒300-0007 土浦市板谷4-709-53 マイシティライフ57番館 201号室 TEL 050-5358-0532

この度は、茨城県情報サービス産業協会に入会させて頂きまして、誠にありがとうございます。

弊社は、2019年8月に創業し、Web開発、AWSなどのクラウド技術の活用を得意としております。

OZ(オズ)という社名は児童文学作品の「オズの魔法使い」に出てくる、不思議な世界「オズの国(Land of Oz)」からきています。

テクノロジーを使って、まるで魔法のようにお客様の課題を解決したいという想いを込めました。

「ITという魔法を駆使して、地方の”人”を輝かせる」をミッションとして、従業員一同、日々精進して参ります。

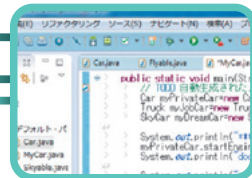
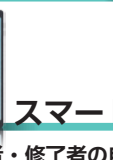
### 技術を身に付けた人材を採用したい!

求職中の方を対象に、半年間で情報分野の技能を身につける職業訓練を実施しています。採用のご予定がありましたら、ぜひ、ポリテクセンター茨城の受講者・修了者をご検討ください。

#### 組込みソフトウェア科

#### ICTエンジニア科

(企業実習付)



#### スマート情報システム科

訓練受講者・修了者の自己PR【求職者情報】はポリテクセンター茨城ホームページに随時掲載しています

### 技術を短期で身につけたい!

主に在職中の方を対象に、2~4日間で専門的な技能を身につける【能力開発セミナー】を実施しています。

コースNo	コース名	日程(令和3年)	受講料
E058	組込みシステム開発におけるプログラミング実践(Pythonプログラミング編)	2/8(月) 9(火) 10(水)	14,000円
E055	組込みシステム開発におけるプログラミング実践(PythonGUIアプリ実践編)	2/16(火) 17(水) 18(木)	10,500円
E052	製造現場におけるLAN活用技術 <企業内LANの技術>	1/19(火) 20(水)	9,500円

【時間】9:15~16:00 【会場】ポリテクセンター茨城(常総市)

日程が  
合わない

内容を  
変えたい

社内で  
やりたい

オーダーメイドセミナーで  
承ります。まずはお電話を

厚生労働省所管 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部

## ポリテクセンター茨城

常総市水海道高野町591(常総警察署隣) 平日8:45~17:00

TEL 0297-22-8845

ポリテク茨城

検索



異動情報

2021年1月1日現在

Change information

入会 正会員

- 株式会社アイエスアイ 代表取締役 石井 秀明 2020年 11月 1日
- 株式会社OZ 代表取締役 新城 寛喜 2021年 1月 1日

協会代表者職位変更

- 株式会社エムシー 代表取締役会長 佐藤 広道 2020年 9月 1日

株式会社へ変更

- 株式会社インフィックス 代表取締役 稲田 正寿 2020年 9月 1日



テイクアウト&デリバリー

お弁当販売しております。



3,000(税込)～

詳しくはお問い合わせくださいませ。

水戸駅南口より徒歩3分

婚礼・宴会・宿泊・会議等

お客様のニーズにお応えします



〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1-6-1

●JR 水戸駅(南口)下車徒歩3分 ●駐車場 240台

お問い合わせ・ご予約 029-224-2727

ホテルレイクビュー水戸  
HOTEL LAKE VIEW MITO

編集  
後記

新年明けましておめでとうございます。  
 昨年は新型コロナウイルス感染症で社会全般が大混乱した年でした。根本的な予防策、治療法が見いだせない状況は今も続いています。危機はこれからも続きますが「危」はピンチ、「機」はチャンス。ピンチをチャンスに変える年にしたいと思う。